

事業評価書

補助事業名	社会福祉施設：一番福祉作業所エレベーター改修工事				
補助事業者名	立川市				
実施場所	東京都立川市一番町3-6-1(立川市一番作業所)				
補助事業の成果の目標	<p>立川市一番福祉作業所は平成元年に開設し、障害者（児）の日中活動の場として福祉の向上や災害時の福祉避難所として地域の安全に寄与してきたものである。施設が開設されてから30年以上経過しているため、耐用年数（17年）を経過したエレベーターの老朽化が進み定期点検では複数の項目で既存不適格の指摘を受けており、故障や事故などの危険性も高く安全に管理することが困難になっている。加えて、平成29年12月末をもってメーカーによる当該エレベーターのサポート（部品供給等）が終了しているため、抜本的な設備の改修が必要となった。</p> <p>このため、当該エレベーターを改修して、障害者（児）を含めた施設利用者が安全に利用できる環境を確保し、利用者の安心度を高め、より良い市民サービスの提供を図る。</p> <p>【参考指標】 年間日数 年間240日（平成31年度） 利用人数 平成31年度 6,958人 平成30年度 6,458人 平成29年度 7,063人</p>				
補助事業の内容	立川市一番福祉作業所のエレベーター改修工事を行う。				
補助事業の始期及び終期	令和2年度				
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度	令和3年度	計
	事業費	円 0	円 21,120,000	円 0	円 21,120,000
	交付金額	円 0	円 20,000,000	円 0	円 20,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 利用者アンケートを行った結果、乗り心地が良くなった。内部が以前より明るくなった。音声案内が入るようになった。パネルのボタンが大きく見やすくなった。きれいになった。などの回答があり、満足度が高かった。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ①地域住民へは、施設の利用団体や来館者向けに工事概要や交付金事業である旨のチラシの配布を行った。②市民への周知は、立川市広報3月25日号に掲載し、ホームページには交付金事業である旨の掲載を行う（本年6月中に予定）、また、工事中及び工事後に交付金事業である旨を表示し周知した。③利用者へは工事完了後、エレベーター扉付近に交付金事業であることの掲示をした。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の有	無				